

平成 21 年 2 月 13 日

会社名 小倉クラッチ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小倉康宏
 (J A S D A Q ・ コード 6 4 0 8)
 問合せ先 常務取締役 河内正美

業績予想の修正、為替差損の発生、子会社株式評価損の発生、固定資産の減損損失の発生及び繰延税金資産の取崩並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 13 日に公表した通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、期末配当予想について、本日の取締役会において修正することが決議されましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成20年11月13日発表) (A)	45,740	60	250	690	45.98
今回発表予想 (B)	43,000	1,340	2,550	3,550	236.57
増減額 (B-A)	2,740	1,400	2,300	2,860	
増減率	6.0%				
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	49,529	548	214	626	41.75

(2) 平成 21 年 3 月期 通期個別業績予想値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (平成20年11月13日発表) (A)	35,370	190	10	285	19.00
今回発表予想 (B)	30,700	890	1,400	2,350	156.60
増減額 (B-A)	4,670	1,080	1,410	2,065	
増減率	13.2%				
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	37,597	591	314	243	16.24

(3) 修正の理由

(通期連結)

米国のサブプライム問題に端を発した世界的金融危機により国内外の景気は急速に減速し、自動車業界は大幅な販売の減少という厳しい局面を迎えております。当社のカーエアコン用クラッチモーターからの受注が下期に入ってから減少し始めていましたが、2009年以降は更に大幅な減産となっております。また、為替市場も円の独歩高という厳しい輸出環境となっております。その結果、売上高は前回予想より27億円減少する見込みとなりました。

このような環境の中、当社グループとしては原価低減・経費削減等を進めておりますが、売上高の減少による利益の減少は避けられず、営業利益は前回予想の60百万円から14億円減少の13億400万円の営業損失に、経常利益は急激な円高による大幅な為替差損の増加により、損失幅が23億円増加して25億500万円の経常損失に、また、株式市場の低迷による投資有価証券の1億700万円の評価損に加え、米国子会社の3億円の減損および当社の収益悪化による繰延税金資産3億500万円の取り崩しがあり、当期純利益は前回予想より損失幅が28億円拡大して35億500万円の当期純損失となる見込みであることから業績予想を修正いたします。

(通期個別)

通期個別につきましては、第4四半期以降の受注が平成20年12月以前に比べて半分以下に落ち込み、為替の急激な円高進展による売上高の目減りもあり、売上高は前回予想より46億円の大幅な減少の見込みとなりました。

このような環境の中、当社としては原価低減・経費削減等を進めておりますが、売上高の大幅な減少による利益の減少は避けられず、営業利益は前回予想の1億900万円の営業損失に、経常利益は為替差損の増加（前回予想は1ドル100円、1ユーロ130円、第4四半期予想は1ドル90円、1ユーロ120円）により、損失幅が14億100万円増加して14億円の経常損失に、また、株式市場の低迷による投資有価証券の評価損700万円、中国無錫の子会社株式の減損処理等による収益悪化により繰延税金資産3億500万円の取り崩しがあり、当期純利益は前回予想より損失幅が20億円拡大して23億500万円の当期純損失となる見込みであることから業績予想を修正いたします。

2. 為替差損の発生

急激な円高に伴う為替相場の変動により、平成21年連結通期にて為替差損12億3400万円（個別通期で5億円）を営業外費用にて計上する見込みであります。なお、平成21年3月期期末の為替相場により、為替差損の額は変動します。

3. 子会社株式評価損の発生

当社100%出資の子会社である小倉離合機（無錫）有限公司において、為替差損の発生等により業績が悪化したため、個別にて子会社株式評価損の見込み額2億1000万円を計上することにいたしました。

なお、子会社株式評価損につきましては、連結業績に与える影響はありません。

4. 固定資産の減損損失の発生

当社の子会社であるオグラ・コーポレーションにおいて、米国内の自動車販売不振に伴う売上の減少により業績が悪化したため、固定資産の減損処理を実施し、特別損失として減損損失3億円を計上する予定です。

5. 繰延税金資産の取崩

当期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に見直した結果、回収が見込めない部分について取り崩すことにいたしました。

これに伴い、法人税等調整額3億500万円を計上することにいたしました。

6. 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期	期末	年間
前回配当予想 (平成20年11月13日)	0.00	12.00	12.00
今回配当予想		0.00	0.00
前期(平成20年3月期)実績	0.00	14.00	14.00

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、財務体質の強化と将来の事業展開に向けた内部留保の充実を勘案しながら、安定配当を行うことを基本政策としております。しかしながら、平成21年3月期の期末配当につきましては、業績予想が大幅に下方修正となりましたので、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

7. 今後の対応について

平成21年3月期通期業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確化すると同時に、現在の自動車業界の置かれた厳しい状況により以下の対応を行ってまいります。

- (1) 報酬削減
取締役：報酬額の50～30%を減額
管理職：管理職手当の50%を減額
- (2) 組織の再編
組織の見直し
生産工場の集約
海外拠点の合理化
- (3) 人員の最適配置
ワークシェアリングの実施検討
一時帰休の実施
- (4) 経費削減
すべての経費見直しによる経費削減
- (5) グループ内最適調達の推進
グループ内の特性を活かした最適調達の推進

【留意事項】

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上